

令和6年度「日本赤十字社」 会費及び寄付金の納付報告

赤十字の活動は、皆さまからの善意（会費や寄付金）により行われています。坂井市地区においても、毎年5月の赤十字運動月間にあわせて、赤十字運動推進のために会費の募集を行っております。区長様をはじめ、関係各位のご協力により、市地区窓口や街頭募金で受け付けました会費等は、下記のとおりです。

● **令和6年度会費額 10,494,941円**
 全額、日本赤十字社福井県支部へ納付いたしました。

皆さまからの深いご理解と多大なご協力を賜り、誠にありがとうございました。



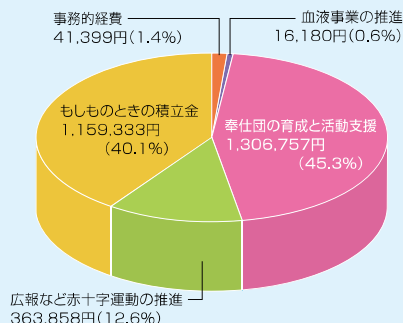
日本赤十字社公式キャラクター
ハートラちゃん

令和6年度「日赤坂井市地区」 決算報告

収入合計 2,887,527円

内訳／県支部交付金 1,712,000円
 前年度積立金 1,174,879円
 預金利子等収入 648円

支出合計 2,887,527円



令和7年度受付「災害義援金」等報告 ～ご協力ありがとうございました～

- 令和6年能登半島地震災害義援金 26,147円
- 令和6年9月能登半島大雨災害義援金 10,000円
- NHK海外たすけあい 132,494円
(令和8年1月31日現在)

皆さまからご寄付いただきました義援金等は、日本赤十字社を通じて被災者の支援等に活用されます。

令和6年度 業務功労表彰

長年にわたり奉仕団活動に従事した団員が表彰を受けました。奉仕活動に率先して参加し、貢献度の高い、20年以上活動されている方に贈られる金色有功章を受章されたのは、以下の13名の方々です。今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

幾野 いく子 藤田 清美 田本 みつ子
 久保田 紀代子 坪田 和代 岡本 洋子
 高間 照代 北島 洋子 中島 美千代
 澤田 恵美子 中山 紀子 末山 トミ子
 小林 登代美 (敬称略)

献血へのご協力をお願いします!!

輸血などに必要な血液をいつでも十分に確保しておくためには、皆さまの継続的な献血協力が必要です。あなたの健康な血液で尊い命を救うことができます。ぜひともご協力をお願いします。

【献血ができる場所】

- 献血ホールいぶぎ 福井市月見3丁目3-23
 受付時間
 【400mL献血】 8:30～11:30 / 13:00～16:00
 【成分献血】 8:30～11:00 / 13:00～16:00



献血バス運行スケジュール

● 献血バス

坂井市内では市役所や商業施設などで、献血バスによる街頭献血を定期的に行っています。献血バスの運行予定は血液センターHPをご確認ください。



★スマホで簡単予約！「ラブラッド」

初めて献血される方も、ラブラッドアプリからご予約が可能です。ぜひご予約の上、献血にご協力ください。



献血Web会員サービスラブラッド



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社福井県支部 坂井市地区広報

あなたの街の赤十字 No.19

2026.3.2

ごあいさつ

市民の皆さま方には、平素より赤十字活動の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は日本各地で大規模な火災や地震が発生し、災害は常に私たちの身近にあり、いつ発生しても不思議ではないという危機意識を強く抱く一年となりました。

赤十字の活動は、市民の皆さまや赤十字奉仕団員の方等のご厚意による会費や寄付金等で支えられております。

皆さまからいただきました日赤会費は次世代の防災意識の育成や、災害に備えた物資備蓄、災害時の医療救護や炊き出し支援、献血事業の推進等に役立てられております。

今後も赤十字活動を通じまして、安全で安心な地域づくりに取組んでまいりますので、引き続き、市民の皆さまのご理解、ご支援等をいただきますよう、お願い申し上げます。



日本赤十字社福井県支部
坂井市地区
地区長 池田 禎孝

もしもの時に
備えて...

日赤ボランティア基礎研修会



毎年行われるボランティア基礎研修会では、今年度は120名余りの団員が参加して「AED講習」「リラクゼーション」「高齢者体験」の3つの講習を、全員が順番に実践しながら学びました。特に「AED講習」は命を守るために繰り返し学んで身につけることが大切であることから、団員一同が真剣に取り組んでいました。

また、歯科医師の畑先生から「私の未来の『美味しい』をまもる」と題して、日常生活をはじめ、災害時においても健康維持のための口腔ケアの重要性を学びました。

わかりやすい畑先生の説明に、口腔ケアの大切さを団員一同納得！



AED講習



リラクゼーション（ハンダケア）



高齢者体験

発行元：日本赤十字社福井県支部 坂井市地区 坂井市赤十字奉仕団

〒919-0592 坂井市坂井町下新庄1-1 TEL 50-3041 (坂井市役所社会福祉課)

ごあいさつ

市民の皆様には、日頃から赤十字奉仕団活動にご理解とご協力をいただき、力強くお支えいただいておりますこと心からお礼申し上げます。

昨年日本各地において、トカラ列島群発地震をはじめとする地震や山林火災、夏の記録的豪雨など災害が相次いでおり、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

幸いにもここ坂井市においては、近年大規模な災害は発生しておらず、大変ありがたいことですが、災害はいつ、どこで発生するかわかりません。私たち赤十字奉仕団では、万が一災害が発生した時に「いのちと健康、尊厳を守る」ことに少しでも寄与できるよう、日々研修と訓練を積み重ねています。また、各分団においては地域の実情に合った地域福祉活動にも取り組み、人道博愛精神のもと「人間を救うのは人間だ」という信念で活動を続けています。

市民の皆様にはこのような赤十字奉仕団活動に今後ともご理解とご支援をいただきまますようお願い申し上げますとともに、一人でも多くの方にご入団いただき、一緒に活動できますことを心から願っております。



坂井市赤十字奉仕団
委員長 定池りゆ子

坂井市赤十字奉仕団

坂井市赤十字奉仕団は、様々な機会に義援金・救済金の募金を行い、国内外の自然災害等で被災した方々を支援しています。

また、命に直結する献血への協力も重要な活動であり、年間を通して赤十字血液センターの献血事業に協力しています。

8月には嶺北消防署の防災訓練に参加し、日頃から学んでいる応急手当や被災者への癒しに役立つリラクゼーションを提供しました。また、エンゼルランドで開催された防災ワークショップでは親子に笛やスリッパなどの防災グッズづくりを指導し、楽しみながら防災に関心を持っていただきました。10月の坂井市食育フェスタでは非常食の配布と展示を行い、非常時での食の大切さを伝えました。

また、児童生徒への防災活動として、磯部小学校の防災合宿でハイゼックスを使ったカレーライス作りを指導するとともに、春江中学校においては三角巾を用いた応急手当を実践し、三国高校ではハイゼックスを使った蒸しパン作りを指導するなど、次世代を担う若い世代の防災意識を高めることができました。



嶺北消防署防災訓練での
応急手当



エンゼルランドでの防災グッズ作り



春江中学校での応急手当講座



食育フェスタでの非常食配布

春江分団

分団長 渡邊 景子
副分団長 藤田 裕美
副分団長 西 尚美

春江分団では年間を通して、防災意識の向上と団員の健康生活支援の活動を行いました。

一日県外研修では、富山県四季防災館にて災害の体験を通して、地震、洪水の怖さを再認識しました。全体研修では災害時の避難所運営ゲームを行い、避難所運営の大変さを改めて知りました。また、フレイル予防を学び、自分の身体と向き合いました。

更に、まちづくり協議会行事への参加や商工会への出前講座なども行い、地域との連携も行っていきます。今後も「団員一人ひとりができることを、無理なく、楽しく」を目標に活動していきたくて思っています。あなたも一緒に活動しませんか。



視察研修（富山県四季防災館）



まちづくり協議会協力（大石小）



商工会女性部出前講座

坂井分団

分団長 正 藤 露子
副分団長 長谷川 英樹
副分団長 坪 田 静枝

今年は災害に備え、炊き出しと心肺蘇生法の研修、また富山県四季防災館で地震や豪雨等の体験研修をしました。一方、地域福祉活動として一人暮らし高齢者にクラフトで「小物入れ」を作って贈り、また、団員が年間通して集めたアルミ缶の収益金で坂井子育て支援センターに遊具を寄贈しました。

その他、毎月2か所の介護施設でボランティア活動も行っています。これらの活動を通して、楽しく団員の交流や奉仕団としての向上を図っています。これからも人の絆を大切に、地域に根ざした活動を続けていきたいと思っています。



視察旅行（富山県四季防災館）



講習会（心肺蘇生法）



施設ボランティア



寄贈



慰問品作り

三国分団

分団長 木下 元美
副分団長 高山 嶋美
副分団長 本 本 千ミコ

三国分団では、今年度も講習や研修を実施しました。

分団の集いでは、フレイル予防の話、椅子を使っでの体操を行いました。何年ぶりの県外研修旅行では24名が参加し、富山県四季防災館を見学し、4つの体験をしました。中でも流水体験では「歩きづらい」「足がすくわれそう」等の声が聞こえました。講習会では、牛乳パックの笛・新聞紙のスリッパを作成しました。初めてだったからか笛がなかなか鳴らず四苦八苦しながら完成させた人もいました。

これからも、学ぶこと、人と人とのつながりを大切にしながら活動を続けていきたいと思っています。



募金活動



フレイル予防



視察研修（富山県四季防災館）



講習会（防災グッズづくり）

丸岡分団

分団長 竹田 裕富子
副分団長 荒木 麻利子
副分団長 奥 村 和子

今年度も、技術を高めるため継続的に行なっている救急法講習（三角巾使用）を実施しました。同時に行なった管理栄養士を招いての栄養教室もフレイル予防になると好評でした。一日研修は、陸上自衛隊鯖江駐屯地を訪れ、救援活動の説明や構内案内をしていただき、大いに自分たちが活動していく上で刺激を受けました。

その他、地区の防災教室でのハイゼックス袋を使用した炊き出し講習や、ガールスカウトの子供たちに防災グッズ作り講習を楽しく行ないました。（子供達には防災笛が人気でした。）

これからも団員同士、考えを出し合いながら気づき、考えながら活動していきたくて思っています。



救急法講習（三角巾）



視察研修（陸自鯖江駐屯地）



炊き出し講習



ガールスカウト
防災グッズづくり